2020年度

泉州二次医療圏「地域医療構想」 現状と今後の方向性

大阪アプローチ

圏域ごとのデータに基づく分析をもとに 公民のイコールフッティングで 病床機能分化の議論を進める

Contents

- 1 泉州二次医療圏の概要
 - (1)今後の医療需要の見込み
 - (2)医療体制の概要
 - (3)診療実態の分析の結果

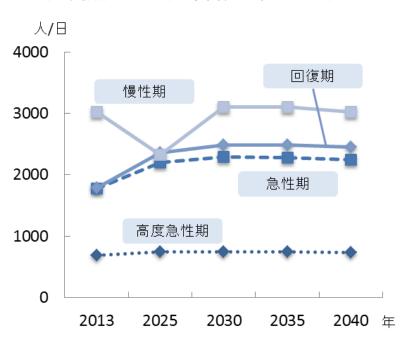
- 2 将来のあるべき医療体制に向けて
 - (1)2025年に各病院が検討している病床機能
 - (2)2025年に各病院が検討している病床機能のまとめ

1

泉州二次医療圏の概要(1)今後の医療需要の見込み

泉州二次医療圏では、今後、2030年をピークに医療需要(特に、急性期と回復期)が増加する見込みである

●病床機能ごとの医療需要の見込み(総計)





基準病床数の将来見込みでは、2030年においても、既存病床数に達しない見込み。

	2013年	2025年		203	0年	203	5年	204 <u>0年</u>		
	(人/日)	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	(人/日)	対2013年	
高度急性期	692	745	1.08	749	1.08	741	1.07	729	1.05	
急性期	1,772	2,198	1.24	2,286	1.29	2,279	1.29	2,247	1.27	
回復期	1,781	2,361	1.33	2,490	1.40	2,487	1.40	2,455	1.38	
慢性期	3,027	2,321	0.77	3,098	1.02	3,101	1.02	3,025	1.00	
合計	7,272	7,625	1.05	8,623	1.19	8,608	1.18	8,456	1.16	

参照:第7次大阪府医療計画

一部改編

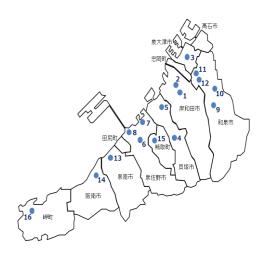


泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要①

泉州二次医療圏では、新公立病院改革プラン補足調査対象病院が7病院、公的医療機関等2025プラン対象病院が2病院である

●主な医療施設の状況

	所在地	▲ 7泉 ルピョス ♥ノ 1人 ルル カル カル・ カル・ カル・ カル・ カル・ カル・ カル・ カル・ カ	新公立病院改革プラにかかる補足調査対	公的医療機関等2025	特定機能病院	地域医療支援病院	社会医療法人開設な	公的医療機関等	府立病院機構	在宅療養後方支援に	がん診療拠点病院	三次救急医療機器	災害拠点病院	特定診療災害医療セン	周産期母子医療セン	感染症指定医療機	結核病床を有するに	エイズ治療拠点病
				プラン		院	病院			病院	院	関		ンター	ター	関	病院	院
1	岸和田市	市立岸和田市民病院	0			0		0										
2	<i>7</i> -тишпі	医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院								0	0	0	0					
3	泉大津市	泉大津市立病院	0					0			0				0			
4	貝塚市	社会医療法人慈薫会河崎病院					0											
5	共物中	市立貝塚病院	0					0			0							
6		社会医療法人栄公会佐野記念病院					0											
7	泉佐野市	医療法人康生会泉佐野優人会病院								0								
8		りんくう総合医療センター	0			0		0			0	0	0		0	0		0
9		社会医療法人啓仁会咲花病院					0											
10	和泉市	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪 母子医療センター	0					0	0	0				0				
11		府中病院		0		0	0				0							
12		和泉市立総合医療センター	0					0			0							
13	泉南市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府 済生会新泉南病院		0				0										
14	阪南市	社会医療法人生長会阪南市民病院	0					0										
15	熊取町	永山病院					0											
16	岬町	医療法人誠人会与田病院								0								
		숌 計	7	2	0	3	5	8	1	4	7	2	2	1	3	1	0	1



2020年10月末時点 【対象病院数61の内訳】

公立病院:7 公的病院:2 民間等病院:52

参照:第7次大阪府医療計画一部改編



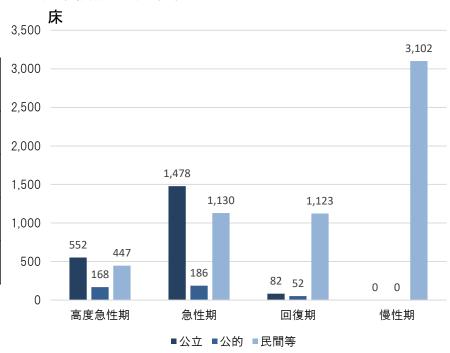
泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要②(病床機能別実態)

回復期・慢性期において、民間病院等が有する病床数が多い

●病院プラン提出

公立·公的· 民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	7	7	100%
公的	2	2	100%
民間等	52	52	100%
合計	61	61	100%

●病床機能別病床数



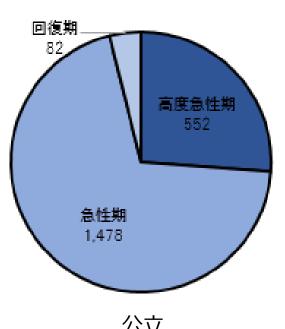
参照:2020年度病院プラン調査等

0

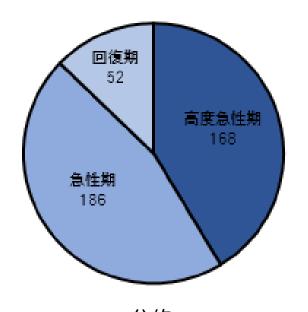
泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要③(公民別病床機能)

公立・公的・民間等、それぞれにおいて有する 病床機能の割合は異なっている

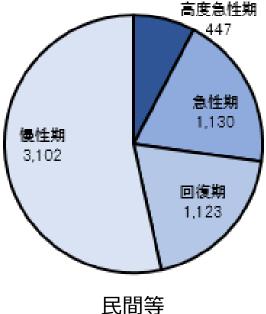
●公民別病床数の病床機能別割合(病院プラン等提出60(61)病院(公立7(8)、公的2、民間等51))



公立 病床数(合計) 2,112床



公的 病床数(合計) 406床



民間等 病床数(合計) 5,802床

参照:2020年度病院プラン調査等



泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要④(公民別病床機能)

●【参考】保健所所管内別病床機能別割合

病床機能別病床数【令和2年7月1日時点】(和泉保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	182	678	40	0	900
公的	168	186	26	0	380
民間等	0	316	260	755	1,331
計	350	1,180	326	755	2,611

病床機能別病床数【令和2年7月1日時点】(岸和田保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	116	533	0	0	649
公的	0	0	0	0	0
民間等	447	244	501	944	2,136
計	563	777	501	944	2,785

病床機能別病床数【令和2年7月1日時点】(泉佐野保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	254	267	42	0	563
公的	0	0	26	0	26
民間等	0	570	362	1,403	2,335
計	254	837	430	1,403	2,924

病床機能別病床数割合【令和2年7月1日時点】(和泉保健所所管内)

		13 1HC 1 / / 3	1 H H J ///\ 1		
	高度急性期	急性期	急性期 回復期		計
公立	20.2%	75.3%	4.4%	0.0%	100%
公的	44.2%	48.9%	6.8%	0.0%	100%
民間等	0.0%	23.7%	19.5%	56.7%	100%
計	13.4%	45.2%	12.5%	28.9%	100%

病床機能別病床数割合【令和2年7月1日時点】(岸和田保健所所管内)

71 371 170 130 733		12 14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	. —		1// 1 1 1 1 1
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	17.9%	82.1%	0.0%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
民間等	20.9%	11.4%	23.5%	44.2%	100%
計	20.2%	27.9%	18.0%	33.9%	100%

病床機能別病床数割合【令和2年7月1日時点】(泉佐野保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	45.1%	47.4%	7.5%	0.0%	100%
公的	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100%
民間等	0.0%	24.4%	15.5%	60.1%	100%
計	8.7%	28.6%	14.7%	48.0%	100%

参照 2020年度病院プラン調査等

1 泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要(5)(医療介護提供体制)

医療・介護提供体制は、多くの機能・施設から構成されているが、泉州二次医療圏には特定機能病院がなく、精神科病院が多いという特徴がある

医療保険 介護保険 その他 介護保険施設 ·般病床 療養病床 一般病棟入院基本料 DPC 有料老人ホーム 73施設 35施設 89施設 4.724人定員 16施設 3.841床 3.333床 療養病棟 3.616人定員 特別養護老人ホーム 入院基本料 小児 41施設 38施設 特定機能病院 入院医療管理料 専門病院 2.491人定員 養護老人ホーム 2.878床 0施設 0床 7施設 263床 0施設 0床 1施設 介護老人保健施設 (一般病床に限る) 130人定員 24施設 回復期 緩和ケア病棟 1.841人定員 救命救急 特定集中治療室 リハビリテーション 3施設 63床 2施設 58床 軽費老人ホーム 5施設 46床 17施設 介護療養型医療施設 24施設 障害者施設等 865床 (介護療養病床) 1.080人定員 5施設 135床 8施設 ハイケアユニット 脳卒中ケアユニット 392人定員 6施設 42床 0施設 0床 地域包括ケア病棟 特殊疾患 介護医療院 (入院料) (入院料) 総合周産期特定集中治療室 0施設 6施設 0人定員 0施設 0床 母体・胎児 1施設 9床 236床 新生児 1施設 21床 サービス 特殊疾患 主な地域密着型 新生児 新生児 付き サービス (入院医療管理料) 特定集中治療室 治療回復室 地域包括ケア病棟 高齢者向け 68施設 1施設 23床 2施設 12床 0施設 0床 (入院医療管理料) 1,250人定員 住宅 有床診療所 7施設 97施設 小児 地域密着型 一般 107床 3,204人定員 特定集中治療室 養護老人ホーム 0施設 0床 14施設 20施設 261床 397人定員 有床診療所 療養 認知症高齢者 精神病床 結核病床 感染症病床 グループホーム 0施設 54施設 0施設 1施設 17施設 0床 853人定員 10床 6.318床 0床

出典 「医療保険」病床機能報告(2017年7月1日時点の医療機能: 2018年10月集計)ただし、次項目は右記のとおり、精神病床・結核病床・感染症病床(大阪府健康医療部資料(2019年3月31日現在))「介護保険・ その他」大阪府福祉部資料(認知症高齢者グループホームは2018年1月1日現在、その他施設は2019年4月1日現在)

泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要⑥(入院料別の経年変化)

急性期一般入院料1・地域包括ケア病棟入院料、回復期 リハビリテーション病棟の報告病床数は、昨年度より増加

●入院料別報告病床数の推移

500 1000 1500 2000 2500 3000 3500 0 【数值標記凡例】 救命救急入院料·特定集中治療室管理料等 188床⇒197床 (+9床) 2018年度数值⇒2019年度数值 (前年度からの増減) 小児入院医療管理料 338床⇒322床(▲16床) 0床⇒0床(±0床) 特定機能病院一般病棟入院基本料等 2,503床⇒2,543床(+40床) 急性期一般入院料1(一般病棟7対1) 506床⇒414床(▲92床) 急性期一般入院料2~7(一般病棟10対1) 地域一般入院料1,2(一般病棟13対1) 233床⇒233床(±0床) 91床⇒59床(▲32床) 地域一般入院料3(一般病棟15対1) 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料 343床⇒447床 (+104床) 回復期リハビリテーション病棟 865床⇒937床(+72床) 緩和ケア病棟 63床⇒63床(±0床) 2,878床⇒2,673床(▲205床) 療養病棟入院料 418床⇒138床(▲280床) 介護療養病床 障害者施設等,特殊疾患病棟 165床⇒183床(+18床) 出典 病床機能報告

2018 2019



泉州二次医療圏の概要(2)医療体制の概要(7)転換補助金)

「病床転換促進事業補助金」の交付病院数は府全体で増加傾向であり、 泉州二次医療圏においては3病院に対し、交付実績がある

大阪府全体

病床転換促進事業補助金(実績)

	補助金交	付病院数		補助金交付病床数					
		(内)病床転換完了	(内)公立・公的病院		(内)病床転換完了	(内)公立・公的病院			
2015年	3	3	3	119	119	119			
2016年	5	3	0	103	63	0			
2017年	7	5	2	303	125	41			
2018年	7	6	0	315	285	0			
2019年	8	4	1	256	44	6			
合計	30	21	6	1096	636	166			

泉州

	補助金交	付病院数		補助金交付病床数					
		(内)病床転換完了	(内)公立・公的病院		(内)病床転換完了	(内)公立・公的病院			
2015年	0	0	0	0	0	0			
2016年	1	0	0	24	0	0			
2017年	2	2	1	52	52	24			
2018年	0	0	0	0	0	0			
2019年	0	0	0	0	0	0			
合計	3	2	1	76	52	24			

泉州二次医療圏の概要(3)診療実態の分析の結果

病床数の必要量における回復期機能を担う病床数の確保には、 泉州二次医療圏で約5%程度同機能への転換が必要と推計

●病床機能報告と病床数の必要量の比較

区八	年度 高度急性期		急性期				同海地	慢性期	休棟等	未報告等	合計
区分	干及	同及忌吐别	思性期	重症急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	受性别	个保守	不知一守	百百
病床数の必要量	2013	923	2,271				1,979	3,291			8,464
病床機能報告	2014	612	3,647				935	3,409	39	297	8,939
病床機能報告	2015	618	3,562				970	3,251	55	452	8,908
病床機能報告	2016	932	3,265				931	3,479	118	171	8,896
病床機能報告	2017	1,044	3,371	2,248	244	879	1,039	3,321	76	0	8,851
病床機能報告	2018	1,166	3,042	2,155	12	875	1,251	3,337	65	0	8,861
病床機能報告	2019	1,168	2,984	2,336	0	648	1,327	2,959	59	0	8,497
病床数の必要量【既存病床数内】	2025	942	2,673				2,488	2,393			8,497
病床数の必要量【オリジナル】	2025	993	2,818				2,623	2,523			8,957

割合の差

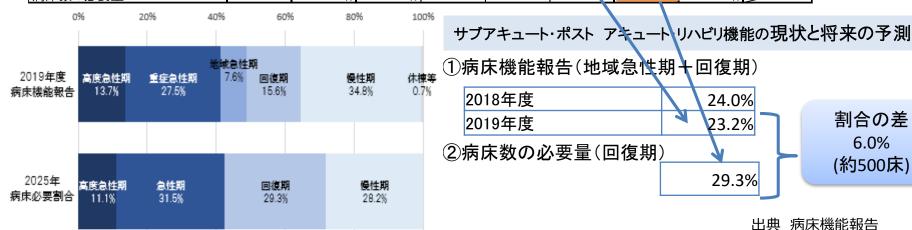
6.0%

(約500床)

11

●病床機能報告(2019年度)と病床数の必要量(2025年)の割合の比較

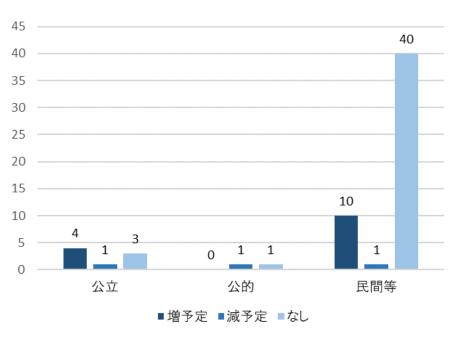
区分	年度	高度急性期	急性期	重症急性期	急性期(不明)	地域急性期	回復期	慢性期	休棟等
病床機能報告	2018	13.2%		24.3%	0.1%	9.9%	14.1%	37.7%	0.7%
病床機能報告	2019	13.7%		27.5%	0.0%	7.6%	15.6%	34.8%	0.7%
病床数の必要量	2025	11.1%	31.5%				29 3%	28.2%	



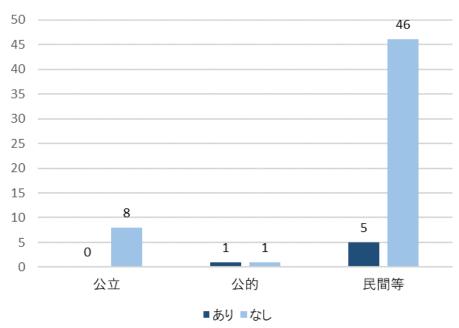
将来のあるべき医療体制に向けて (1)2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

診療科見直し予定ありは23%、建て替え検討ありが31%となっている。

●2025年に向けた診療科の見直しの予定の有無



●2025年までの建て替えの検討の有無



参照 2020年度病院プラン調査等

2 将来のあるべき医療体制に向けて (1)2025年に向け各病院が検討している病床機能②

296

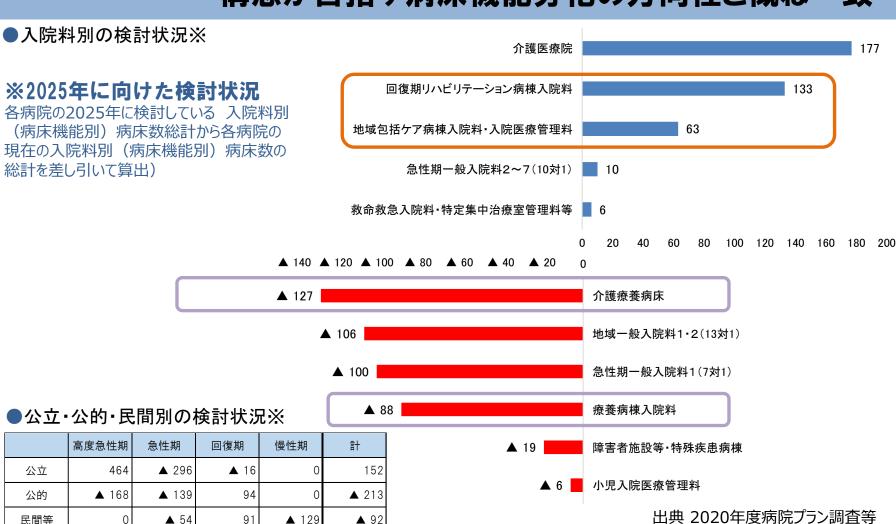
▲ 489

169

▲ 129

▲ 153

各病院が検討している病床機能等の変更は、 構想が目指す病床機能分化の方向性と概ね一致



2 将来のあるべき医療体制に向けて

(1) 2025年に向け各病院が検討している病床機能③

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
泉大津市	泉大津市立病院	6	208	16	0	0	230
和泉市	府中病院	168	186	26	0	0	380
	計	174	394	42	0	0	610



再編統合予定時期	医療機関名 医療機関名		急性期	回復期	慢性期	計
	泉大津市立病院	6	76	0	0	82
2024年度	(仮称) 新泉大津市立病院	168	132	0	0	300
	府中病院	0	47	120	0	167
	計	174	255	120	0	549
	增 減	0	▲ 139	78	0	▲ 61

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
岸和田市	岸和田徳洲会病院	341	0	0	0	0	341
泉佐野市	東佐野病院	0	59	0	79	0	138
	計	341	59	0	79	0	479



再編後

再編統合予定時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
2022年4月	岸和田徳洲会病院	341	59	0	0	400
	東佐野病院	0	0	0	79	79
	計	341	59	0	79	479
	増 減	0	0	0	0	0

住所	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	非稼働	計
	高石藤井病院	0	58	65	40	0	163
高石市	高石心臓血管病院	0	41	0	0	0	41
	福田病院	0	0	0	40	0	40
	計	0	99	65	80	0	244



再編統合予定時期	医療機関名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
2021年	高石藤井病院	0	58	68	41	167
	高石心臓血管病院	0	41	0	0	41
	計	0	99	68	41	208
	増 減	0	0	3	▲ 39	▲ 36

2 将来のあるべき医療体制に向けて (1)2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

●【参考】保健所所管内別病床機能の検討状況※

病床機能別增減表(和泉保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	464	▲ 296	▲ 16	0	152
公的	▲ 168	▲ 139	94	0	▲ 213
民間等	0	▲ 24	61	A 29	8
計	296	▲ 459	139	▲ 29	▲ 53

病床機能別增減表(泉佐野保健所所管内)

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
公立	0	0	0	0	0
公的	0	0	0	0	0
民間等	0	▲ 59	0	1 00	▲ 159
計	0	▲ 59	0	1 00	▲ 159

病床機能別增減表(岸和田保健所所管内)

が						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
公立	0	0	0	0	0	
公的	0	0	0	0	0	
民間等	0	29	30	0	59	
計	0	29	30	0	59	

※2025年に向けた検討状況

各病院の2025年に検討している 入院料別 (病床機能別) 病床数総計から各病院の現在の入院料別 (病床機能別) 病床数の総計を差し引いて算出)

参照 2020年度病院プラン調査等

2 将来のあるべき医療体制に向けて (2)2025年に向け各病院が検討している病床機能のまとめ

〇将来に向けて、療養病床は減少し、地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟の病床数は増加する傾向が見込まれる。